

▲運転手や歩行者に交通安全を呼び掛ける標語を作り、見事優秀作品に選ばれた皆さん

## 桑折地区住民自治協議会による標語募集表彰式 全な町への思いを17字に託して

桑折地区住民自治協議会主催による「交通安全」をテーマとした標語の表彰式が10月25日、醸芳小学校で行われました。工藤信悦会長より、優秀作品に選ばれた5、6年生の児童16人に、賞状が手渡されました。優秀作品は、立て看板として地域内の道路脇に掲げ、町の交通安全を地域の皆さんに広く呼び掛けていきます。

【優秀賞受賞者】平井捷仁、髙橋ここみ、佐藤郁音、菅野緋咲、吉田果、 橋本悠樹、三本杉明佳、大橋泰樹、五十嵐璃音、熊本樹、小幡優翔、 石井奏多、八島結瑞、菅野斗吾、佐野璃咲、山室榛真(順不同・敬称略)

# 伊達果実農業協同組合よるバナナ贈呈式 養たっぷりのバナナで健康に

伊達果実農業協同組合が11月、醸芳保育所や醸芳幼稚園、各小・ 中学校、やすらぎ園など、各施設にバナナを贈呈しました。

同月16日には、醸芳幼稚園で贈呈式が行われ、佐藤邦雄組合長が「バナナは栄養価の高い果物。これから寒い季節を迎えますが、バナナを食べて、風邪を引かずに元気いっぱい幼稚園で遊んでくださいね」と代表園児にバナナを手渡しました。齋藤小百合園長は「バナナでエネルギーをつけて、健康な体で冬を乗り越えましょうね」と話し、園児らは、お礼の歌と手づくりのバナナの飾りをプレゼントしました。



▲「ありがとうございます」とバナナを大切 に受け取る代表園児の皆さん



▲「きれいになった公園で、気持ち良く過ご してほしい」と除草作業する会員の皆さん

### シルバー人材センターのボランティア活動 園で気持ち良く過ごせるように

町シルバー人材センターによるボランティア活動が10月15日、蚕 糸記念公園と桑折駅前団地集会所周辺で行われました。

この日は、会員約10人が約3時間かけて敷地内の除草を実施。駅前団地の歩道や公園の駐車場など、手分けして隅々まで除草し、公園、集会所ともに見晴らしが良く、きれいになりました。

センターでは、60歳以上の会員がさまざまな仕事の依頼を受けて 元気に就業しています。随時会員を募集していますので、興味のある 人は気軽に連絡ください(桑折町字西段10 ☎582-3194)。

### 追分長寿会の桑折駅前環境整備活動 の玄関口をはなやかに

追分長寿会による環境整備作業が11月5日、桑折駅前で行われ、会員11人が参加しました。当会が毎年取り組んでいる美化活動の一環で、「地域に彩りを」をテーマに実施しています。今年も駐車場を中心にパンジーの苗を植えました。会員は慣れた手つきで手際よく作業し、駅周辺を色鮮やかに飾りました。

安藤重雄追分長寿会会長は「色とりどりの花が並び、駅前がはなやかになった。来町される皆さんを明るく迎えたい。駅利用者にも花を見て、笑顔になってもらえたらうれしい」と話しました。



▲花の色合いを考えながら、和気あいあいと 苗を植える追分長寿会の皆さん



▲「教育充実のため、今後も町の発展に貢献 したい」と話す多賀社長(写真右)

#### 企業版ふるさと納税 のICT教育充実のために

企業版ふるさと納税として、3年連続で旭計器株式会社と、今年度 新たに曙ブレーキ福島製造株式会社から寄附がありました。旭計器㈱ の多賀新吾代表取締役社長は11月1日に役場を訪れ、髙橋町長へ目 録を手渡しました。多賀社長は「未来ある子どもたちのために有効活 用してほしい」と話し、髙橋町長は「町の応援団長として、毎年お力 添えをいただき感謝している」とお礼を述べました。

寄附金は、国の認定を受けた「桑折っ子育成プロジェクト」に充 てられ、小中学校のタブレット端末の整備などに活用されます。

### 郵便局から小学校に絵本寄附 を伝える手紙文化の大切さ

県北部地区郵便局長会から、町の子どもたちへ絵本「もりのゆうびんきょくのおはなしぽすくまです!」の寄附がありました。桑折郵便局の神藤厚局長が11月5日、役場を訪れ、髙橋町長に絵本4冊を手渡しました。絵本は、会津若松市出身の日本郵便切手デザイナー中丸ひとみさんが生みの親となった、日本郵便の公式キャラクター「ぽすくま」が森のみんなに郵便物を届けるという物語。神藤局長は「今や電話やメールで意思疎通を図ることが多い時代。手紙の大切さや温かさを感じ、手紙文化を引き継いでほしい」と話しました。



▲寄附いただいた絵本は、各小学校の図書室 で貸し出しています



▲消防車5台が警鐘を鳴らしながら各地区を 回り、火災予防を呼び掛けました

### 町内防火パレード 防団が火の用心を啓発

秋の全国火災予防運動町内防火パレードが11月14日、町全域で行われました。消防車両5台が出動し、消防団や女性防火クラブなど約30人が参加しました。町内をくまなく巡回し、女性消防団員が「これから空気が乾燥し、火災の発生しやすい時季を迎えます。ストーブや灯油を使う機会も増えますが、住宅用火災警報器や消火器の設置・点検を行い、火を使う際は十分注意し、火災予防に努めましょう」と呼び掛けました。町消防団では、随時団員を募集しています。興味のある人は、生活環境課までご連絡ください(☎582-2123)。

## 女性消防隊による火災予防啓発活動 **児に紙芝居で避難方法を紹介**

町消防団の女性消防隊は11月22日、醸芳幼稚園で、火災発生時の 避難を題材にした紙芝居「けむりがモクモク」を読み聞かせました。 隊員による読み聞かせは、昨年に続き2回目で、園児たちは優しい語 り口調に、熱心に耳を傾けました。

紙芝居は、地震や火災が発生した時に、どのような行動をとるべきかを考えるきっかけとなる内容。揺れが収まったら、火の元を確認することや、火災が発生したら、煙を吸い込まないように、ハンカチや洋服の袖などを口に当てて避難することなどの大切さを伝えました。



▲女性消防隊が紙芝居をスクリーンに映し出 し、園児に読み聞かせました

広報こおり | Dec 2021